

# 平成 26 年度 陵墓関係調査報告

## 陵 墓 調 査 室

### 調査の概要

書陵部陵墓課陵墓調査室においては、陵墓において保全・整備のための土木工事などを実施するに際し、「周知の遺跡」、さらには文献等に記載があることにより、遺跡の可能性がある場合、その施工の区域・箇所における遺構・遺物の有無を確認し、工法の決定に資するため、所定の手続きをふまえつつ、事前調査・立会調査を毎年実施している。

平成 26 年度においても、所轄の陵墓監区事務所や京都事務所などの関係機関、さらには地元の教育委員会とも協力し、以下の区域・箇所において調査をおこなった。その概要を以下に記すこととする。

[事前調査] 2 件

本年度は、以下の 2 件において、事前調査をおこなった。

#### 1 佐紀部事務所（奈良県奈良市山陵町）建替予定箇所の調査

畝傍監区、6 月実施、担当：有馬伸・三井朋宏・池田直樹・浅井良寛

佐紀部事務所を建て替えることとなり、そのために建設候補地において事前調査を実施し、遺構・遺物の存否を確認した。後掲の報告文を参考とされたい。

#### 2 五十瓊敷入彦命宇度墓（大阪府岬町淡輪）墳塋裾護岸その他整備工事に伴う調査

古市監区、10～12 月実施、担当：清喜裕二・加藤一郎・横田真吾

近い将来に墳塋裾護岸その他整備工事が予定されていることから、事前に調査を実施した。その詳細は後掲する。

[立会調査] 14 件

#### 3 宜仁親王墓（東京都文京区大塚五丁目 豊島岡墓地内）営建に伴う調査

多摩監区、6 月実施、担当：清喜裕二

当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地には指定されていないが、玄室の埋設や基壇基礎工事箇所の掘削時に念のため立ち会ったものである。その結果、掘削箇所の土層は陵墓地造成時の整地土と地山であり、遺構・遺物は確認されなかった。

#### 4 豊島岡墓地（東京都文京区大塚五丁目 豊島岡墓地内）北側万代塀改修工事に伴う調査

多摩監区、1～3 月実施、担当：清喜裕二

豊島岡墓地内の北側に設置してある万代塀の改修工事にあたって、その基礎工事箇所掘削の調査に立ち会ったものである。本工事は宮内庁による施工であるが、調査の主体は文京区であるため調査結果は、追って文京区教育委員会より報告の予定である。

#### 5 嵐峨天皇嵯峨山上陵（京都市右京区北嵯峨朝原山町）の災害復旧に伴う参道整備工事に伴う調査

桃山監区、8 月～平成 27 年 5 月実施、担当：鎌谷幸一・平尾伸也

本工事は災害によって被害を受けた参道の復旧工事であるが、今年度に完了せず 27 年度にも引き続き調査をおこなったので、来年度にまとめて報告する。

#### 6 男狭穂塚女狭穂塚陵墓参考地（宮崎県西都市大字三宅）参道擬木柵設置その他工事に伴う調査

桃山監区、7～10 月実施、担当：加藤一郎・坂本博史・高比良裕喜

報告文は後掲する。

**7 泉山陵墓地（京都市東山区今熊野泉山町）斜面崩壊復旧工事に伴う調査**

月輪監区、9～11月実施、担当：玉石直裕・堀井 清

泉山陵墓地の一部で斜面が崩壊した箇所があり、その復旧工事に伴う掘削に立ち会った。工事範囲は2工区に分けられており、第1工区ではふとん籠の最下段を地中に埋設するために、延長約14m、幅1.4m、深さ0.6mを掘削した。掘削箇所の土層断面を観察したところ、崩落した土砂と地山であり、遺構・遺物は確認されなかった。第2工区は崩落した延長約16mを法面整形した工事であり、遺構・遺物は確認されなかった。

**8 陽成天皇神楽岡東陵（京都市左京区浄土寺真如町）コンクリート組立塀撤去その他工事に伴う調査**

月輪監区、11～2月実施、担当：米谷有朋・安江竜太

当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地には指定されていないが、既存のコンクリート塀基礎の撤去にあたり、その掘削箇所に立ち会った。その結果、掘削した箇所の土層はいずれも近年の盛土層であり、遺構・遺物は確認されていない。

**9 冷泉天皇櫻本陵（京都市左京区鹿ヶ谷寺ノ前町）隣接地共同住宅用地造成開発工事に伴う調査**

月輪監区、8～10月実施、担当：米谷有朋・安江竜太

本工事は当庁管理地外で施工されたものであるが、隣接する箇所で掘削をおこなうことから、その掘削に立ち会った。その結果、掘削地の土層は近年の盛土層であり、遺構・遺物は確認されなかった。

**10 挿上部事務所（奈良県高市郡明日香村平田）給水管漏水修繕工事に伴う調査**

畠傍監区、7月実施、担当：近藤時男・岩槻知樹

当該事務所給水管が経年のために劣化したため、その配管取替えに伴う掘削に立ち会った。掘削した箇所の土層を観察したところ、既存の管路を埋設した際の埋め戻し土であり、遺構・遺物は確認されなかった。

**11 井上内親王宇智陵（奈良県五條市御山町）見張所改修工事に伴う調査**

畠傍監区、8～10月実施、担当：徳永真明・志賀陽太

当該見張所の改修工事に伴い、その基礎部分(L 1.6～1.8m × W 1.5～1.8m × D 0.2～0.3m)の掘削・埋め戻し時に立ち会った。掘削した箇所の土層を観察したところ、既存の見張所を建築した際の埋め戻し土と盛土であり、遺構・遺物は確認されなかった。

**12 倭迹迹日百襲姫命大市墓（奈良県桜井市大字箸中）外周掃除口門扉改修工事に伴う調査**

畠傍監区、2・3月実施、担当：小走泰弘・徳永真明・南 彰治

当該墓の外周に設置されていた掃除口門扉が倒木によって破損したために同じ位置に再建することとなり、その基礎部分(L 0.5m × W 0.5～0.7m × D 0.6m 2箇所)の掘削・埋め戻しに立ち会った。掘削箇所の土層を観察したところ、既存の基礎を埋設した際の埋め戻し土であり、遺構・遺物は認められなかった。

**13 清寧天皇河内坂門原陵飛地い号（大阪府羽曳野市西浦）柵改修その他工事に伴う調査**

古市監区、2月実施、担当：横田真吾・濱田武典・玉野裕弥

本工事に当たっては昨年度に事前調査を実施し、その結果を受け本年度において工事に伴う立会調査を実施した。報告文は後掲する。

**14 東百舌鳥陵墓参考地（大阪府堺市北区百舌鳥西之町）後円部墳丘護岸整備工事に伴う調査**

古市監区、10～3月実施、担当：徳田誠志・宮田一弘・安岡徹悦

本工事に関しては、平成24年10～12月に実施した事前調査の成果を元に工法を策定したものである。本工事の内容及び、立会状況については後掲する。

**15 仁徳天皇百舌鳥耳原中陵（大阪府堺市堺区大仙町）第2堤防法面復旧工事に伴う調査**

古市監区、3月実施、担当：宮田一弘・安岡徹悦

本陵の第2堤防の一部(約4m)が崩落したので、その復旧工事をおこなった。工法は土留め柵を設置し、植生土嚢を積み上げるものである。工事にあたっては掘削を一切おこなわなかったため、文化財保護法の手続きは不要との判断が堺市から示された。しかしながら念のため工事期間中には現地の立会を実施した

結果、遺構・遺物は認められなかった。

**16 仲哀天皇恵我長野西陵（大阪府藤井寺市藤井寺）駐車場内污水枠設置工事に伴う調査**

古市監区、3月実施、担当：富賀 稔・須藤周太

本陵の外堤に接して設けられている駐車場内において、藤井寺市によって汚水枠が設置されることとなり、この工事の主体は藤井寺市であるが、念のため掘削に立ち会った。掘削箇所の(L 0.9m × W 0.6m × D 1.6m)土層を確認したところ盛土内の掘削にとどまっており、遺構・遺物は確認されなかった。

[墳丘外形調査] 1件

**17 宇治陵 23号地（京都府宇治市木幡）**

桃山監区、2～3月実施、担当：有馬伸・土屋隆史

宇治陵のうち23号地の界28号～29号付近の約6,600m<sup>2</sup>について現況測量(縮尺1/100、25cm等高線)を実施した。今年度はそのうち約半分の3,300m<sup>2</sup>の測量を実施した。平成27年度において残りの範囲の測量を実施するので、その報告は来年度以降におこなう予定である。

平成26年度には上記調査以外に、以下のような調査も実施した。

[所蔵出土品関係資料調査] 1件

書陵部で所蔵している出土品に関する調査を、所蔵者の協力を得て以下の3機関において実施した。

**18 亀山市埋蔵文化財整理室（三重県亀山市若山町）・羽曳野市埋蔵文化財整理室（大阪府羽曳野市誉田）**

9月実施、担当：横田真吾

昨年度事前調査をおこなった能褒野墓周辺の古墳群から出土した須恵器・埴輪に関する資料を亀山市埋蔵文化財整理室において閲覧、写真撮影した。また、同じく昨年度に実施した清寧天皇飛地い号から出土した資料に関連する埴輪の閲覧をおこなった。

[関係文献調査] 1件

**19 三重県総合博物館（三重県津市一身田）**

11月実施、担当：土屋隆史

昨年度事前調査をおこなった能褒野墓に関連する公文書の閲覧と、関係資料の調査をおこなった。

(徳田誠志)